

自治体の課題、現状

・本町においては、1校の公立中学校があり、生徒数95人で6つの運動部と1つの文化部が活動しており、吹奏楽部は唯一の文化部である。吹奏楽部に所属する生徒は14人と人気のある部活だが、少子化及び過疎化で中学生が減少する中、十分な活動が行えないほか、教員の働き方改革の推進等に伴い、地域にも十分な指導者がおらず、パート（楽器）ごとの技術や奏法の指導が上級生から下級生に行うことができず、顧問や指導員が苦慮している状況にある。それらを踏まえ、本町の吹奏楽の文化が衰退しないよう、地域活動として吹奏楽を楽しめる場を創出する必要がある。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	1 校	全生徒数	95 人
域内の部活動数	1 部	実施した地域クラブ数	1 クラブ
全体の指導者数	15 人	全体の運営スタッフ数	0 人
主な運営団体	地域移行・市区町村運営型		
主な種目	吹奏楽		
平均的な活動回数	3回/月	年間平均参加生徒実数	3年：7人/クラブ 2年：2人/クラブ 1年：5人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	蘭越中学校

地域移行関連の取組、成果

- ・取組としては、町が包括連携協定を締結している札幌大谷大学音楽学科を活用し、発表会など目標設定を行い、町民の多くに活動について関心を持ってもらうことを目指す。
- ・ICTを活用し、音楽学科の教授や大学生から質の高い音楽の指導を受けた。
- ・使用する楽器は中学校が保有する楽器を使用貸借し、生徒についてはGIGAタブレットや学校WiFi、公共WiFiの使用を認め、参加費用の負担軽減を図った。
- ・活動場所を蘭越中学校とすることで、生徒や楽団員、楽器の移動に係る負担を軽減した。

運営体制図

